

高知県幡多郡黒潮町におけるレジリエンス強化及び脱炭素化事業

概要 要: 高知県黒潮町の避難所である保育所に、太陽光発電設備及び蓄電池を整備。地震等による停電に対して、蓄電池が稼働し、避難所運営機能に貢献。

- 実施主体: ジェイバリュー信託株式会社
- 実施場所: 高知県黒潮町
- 事業概要: 高知県黒潮町の指定避難所であり、代替庁舎の役割も担う大方中央保育所に、太陽光発電設備及び蓄電池を整備
- 事業費: 34,232千円

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
レジリエンス強化及び脱炭素化事業	設備導入	34,232千円	R2~R4
うち5か年加速化対策	設備導入	7,554千円	R2~R4

- 南海トラフ地震による想定、効果発現見込み
 - 災害外力想定: 沿岸に近い地域では最大震度7、その他ほとんど地域でも最大震度6強の揺れが想定
 - 被害想定: 最悪想定では、人口13,338人の内2,300人が犠牲となり、生存者11,038人の内10,500人(95.1%)が避難生活者となる。避難生活者の数は1か月後においても、あまり減少することがなく長期化することが想定される。

商用電力が停電した場合でも、蓄電池より電力供給を行い、避難所・代替庁舎としての機能を確保

<大方中央保育所における太陽光発電設備>



指定避難所として600名超の避難者の収容が可能。本庁舎が被災した際の代替の災害対策本部の設置場所でもある

太陽光発電設備101.68kW、蓄電池20kWhを導入

効果見込み

- 商用電力が停電した場合でも、蓄電池の電力で施設の照明、扇風機、電気ストーブ等が使用できるほか、コンセントを避難者に開放
- 必要な機器にも電源供給し、避難者への災害対策本部としての機能に寄与

